

ACE チャリティフットサル大会 ルール概要

2010年6月

(特) = ACE チャリティフットサル大会特別ルール

【競技人数】

1 チームの出場選手のエントリーは 10 名までとする。必ずエントリーされたチームの試合のみ出場すること（一人が複数のチームで試合に参加してはならない）。試合に出場できるのは 5 名、1 名は GK(ゴールキーパー)とする。試合には常に女性または子ども（小学生以下）が 1 名参加する。試合開始時に 1 チーム 3 名以上揃っていれば試合は成立する。3 名に満たない場合は、不戦敗となる。その際、相手チームは 3-0 で不戦勝となる。選手交代は試合中、自由に何回でも交代ゾーンから交代できる。ただし、プレー中の選手が完全にコートに出てからでないと交代選手はコートに入れない。違反した場合、警告の対象となる。GK の交代は審判に告知してから審判の指示に従って交代を行う。(特)

【競技者の用具】

金属製のサッカースパイクは使用できません。フットサルシューズ、トレーニングシューズなどの運動靴をご用意ください。怪我防止のため、シンガード（すね当て）を必ず着用してください。同様に、メガネや指輪、時計、ネックレス類の着用は禁止（スポーツ用のメガネのみ着用可能）。(特)

【競技時間】

試合時間は予選 1 試合につき 10 分。決勝トーナメントは前後半 8 分、ハーフタイム 2 分とする。

【ルール】

原則的には、(財)日本サッカー協会が定める「フットサル競技規則」に準ずる。

※特別ルール：シュートをする際、目の前に女性や子どもがいた場合、思いっきりシュートはしない。(主審の判断による)

【プレーの開始及び再開】

試合前のエンドまたは、キックオフの選択は「ジャンケン」に勝ったチームが選択できる。(特)
キックオフでの、ファーストタッチゴールは認められる（ファーストタッチは前方に移動しなければいけない）。

【反則】

ショルダーチャージとスライディングタックルは禁止。女性、子どもに対する接触も禁止。違反した場合は、相手チームに直接フリーキックが与えられる。ただし、GK に限り自陣ペナルティーエリア内の正当なスライディングタックルであれば認められる（スライディングそのものは反則ではありません）。

【反則の累積】

反則の累積はカウントしない。すべての試合がフェアプレーで行われることを前提にする。(特)

【得点】

女性、および子ども（小学生以下）がゴールを決めた場合、加算される得点を 2 点とする。(特)

【フリーキック】

相手チームの選手は、直接・間接ともにボールから 5 メートル以上離れなければならない。

【キックイン】

タッチラインを割った場合、スローインではなく、キックインで再開する。キックインを行う際、ボールはライン上に静止し、軸足がラインを完全に踏み越えないようにキックインを行う。違反した場合は、相手チームにキックインが与えられる。フリーキック同様、相手チームは 5 メートル以上離れなければならない。

【ゴールクリアランス】

サッカーのゴールキックに替るもの。GK のスローでプレーを再開する。ゴールクリアランス、インプレー中のスローが直接ゴールに投げ入れられても得点として認められない。もし直接入った場合は、相手チームのゴールクリアランスでプレーを再開する。

【ゴールキーパーのプレー】

GK は、自陣のコート内では、ペナルティーエリアの内外にかかわらず、足であっても 4 秒以上、保持することはできない。味方から GK へのバックパスは何度でも可能。(特)

【4 秒ルール】

フリーキック、キックイン、コーナーキック及びゴールクリアランスは、4 秒以内に行わなければならない。4 秒を越えると、相手チームにキックインあるいは間接フリーキックが与えられる。

【勝敗の決定】

リーグ戦の勝敗は、勝点→得失点→総得点→直接対決→コイントスの優先順位で決断をする。

【PK 戦時の条件、勝敗決定方法】

試合終了時に、コート内に入っていた選手 5 名を PK 戦のキッカーの対象とする。(特)

(注：PK 戦時には、選手交代はできません。)

トーナメントで同点だった場合、準決勝まではサドンデスの PK 戦で勝敗を決定する。決勝戦で同点だった場合は、5 分間の延長 V ゴール戦（前・後半なし）を行い、決着をつける。それでも決着がつかない場合は、3 名による PK 戦で勝敗を決定する。4 人目からはサドンデスで行う。(特)

(注：ベンチの選手は蹴ることはできません。)

【その他】

試合前には、怪我を防止するためにも十分なウォーミングアップを行うようにしてください。